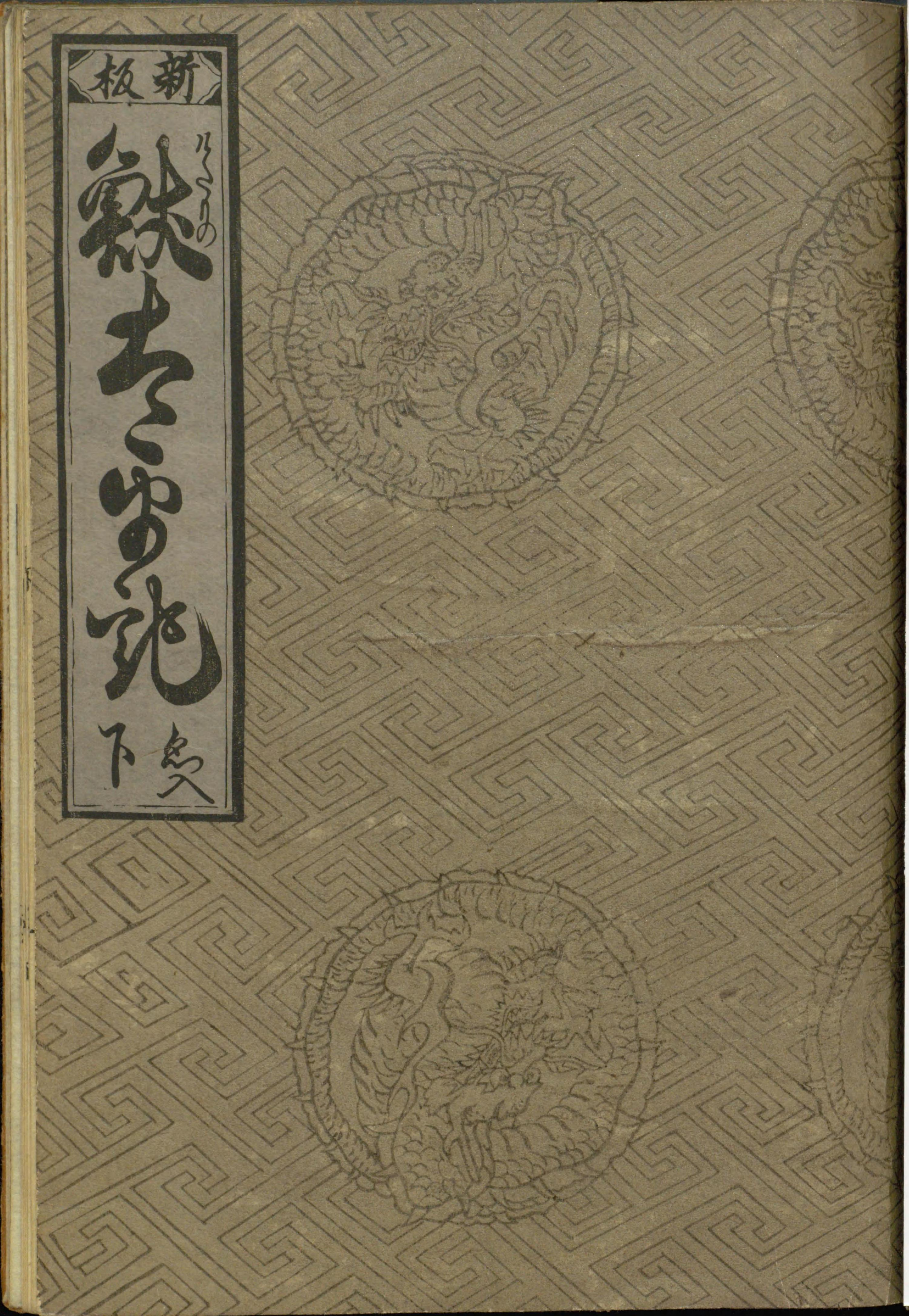


新板

戯（ちやりの）ちよぼくれ

下　絵入

Kodak Color Control Patches
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black
© Kodak, 2007 TM: Kodak
Kodak Gray Scale
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19
C Y M
© Kodak, 2007 TM: Kodak

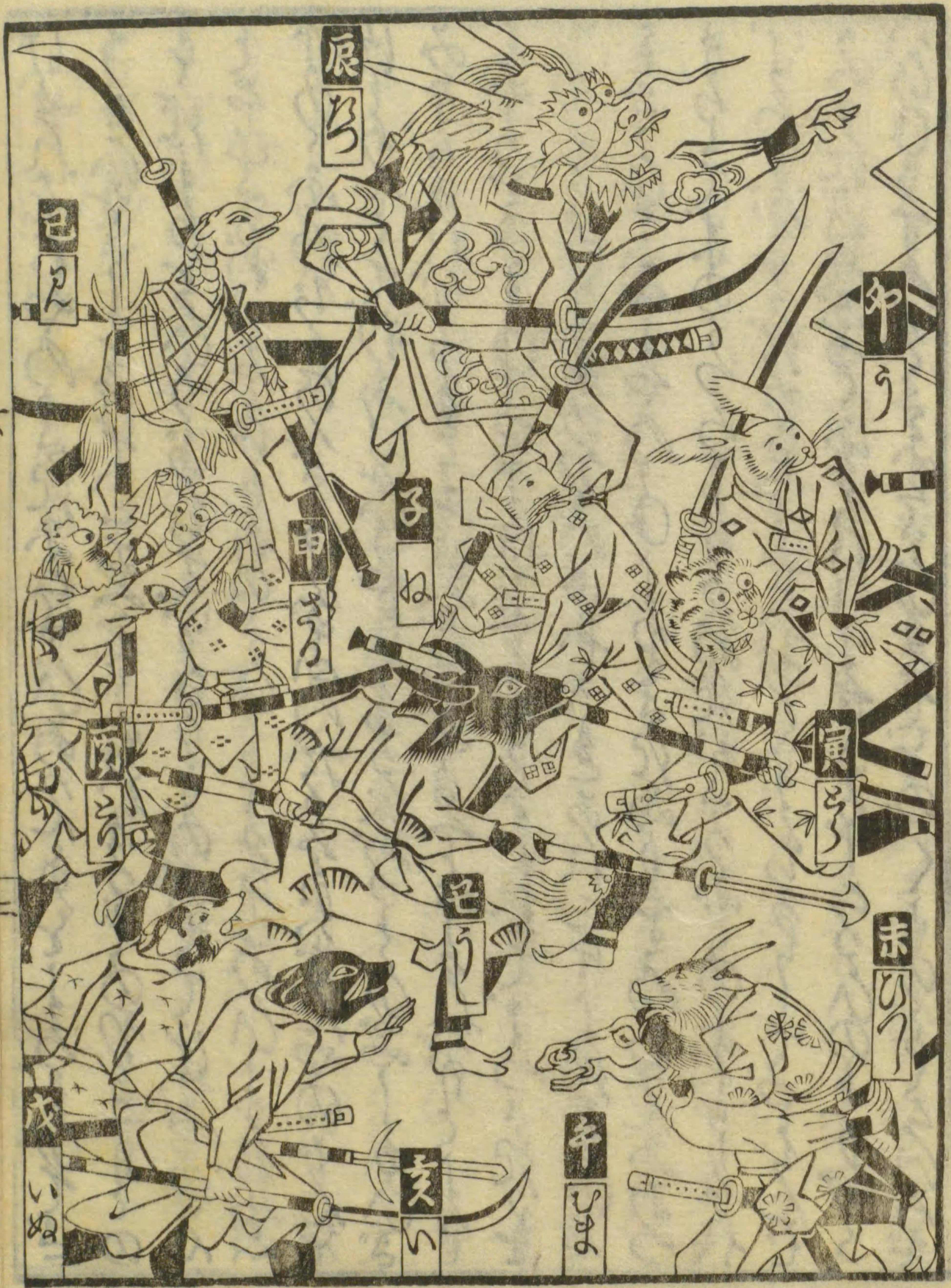
162-67

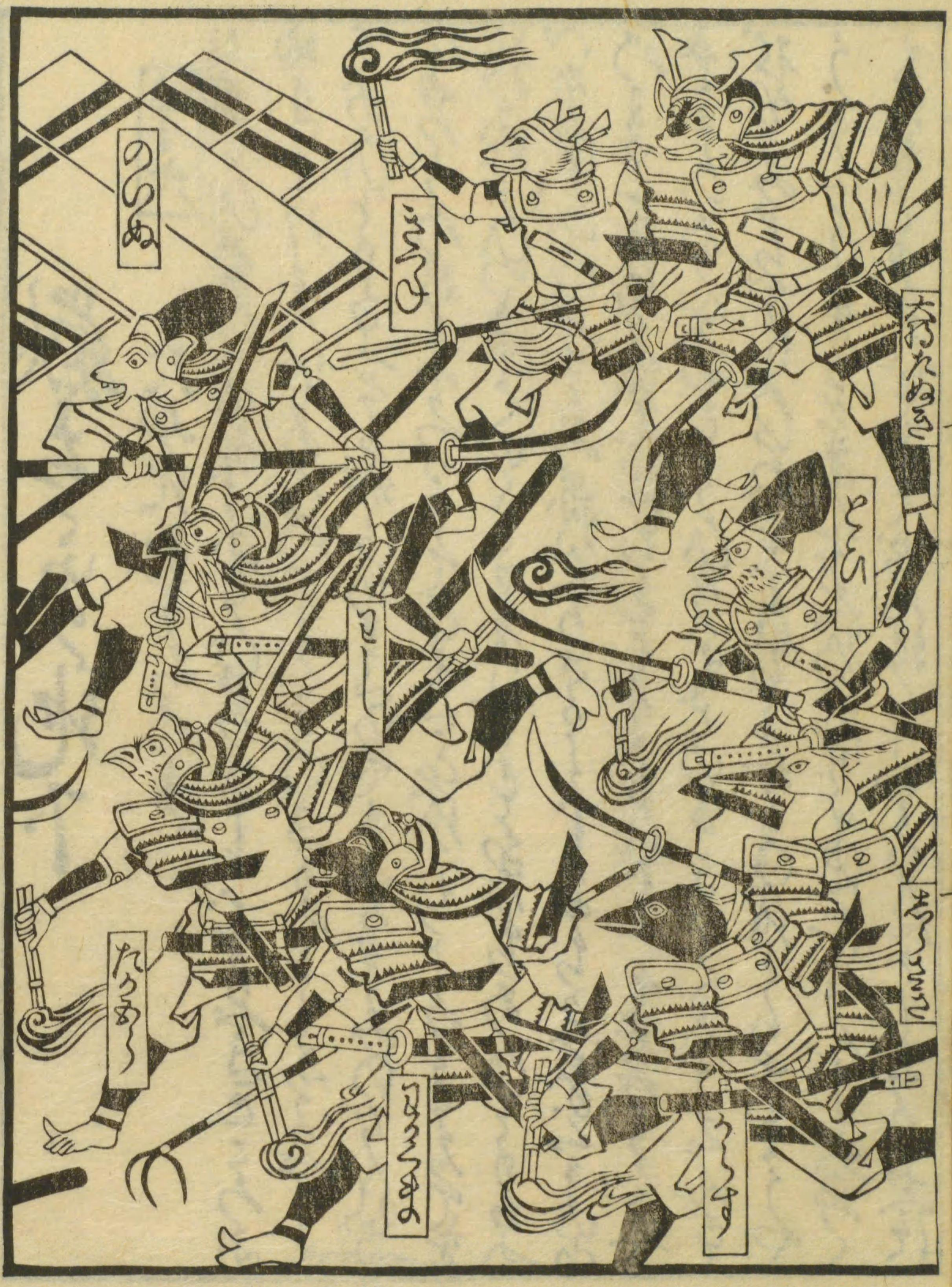
獣ちくゆの地下

たぬ花東うちの中

ふうとびぼうてのなどふとびぼうぐまで志うかさところふ娘きまうしだれだおんのごとくごのぎまつとも志うかてさておひとのまふとをもがらくのまてらいでさてらかまみのでん氏わかちう ふあやらのわくふりつとておそて山はうちよのまこゑにてきおぶふもひつきりくかくとりくれだおとおりちあひとのまふばなる山のふうきう孫かへりさかまるあちりく京ふく女め山のまうく夜ハおんざんハみちをもちうわるれしだとておうく今からのゐんふやさらひろうもどのすさらくどうきんさそおかりみがちやしのいねの大きみちうがずのなしらてまうやうきんとしまうがきんがあへの八かでもととじさんまいハうづくもおやでからふれだとてあん孫ん下へゆて人としろう出た

大正
12.2.27
内交


辰たつ
卯う
巳み
子ね
申さる
寅とら
酉とり
丑うし
未ひつじ
午うま
亥い
戌いぬ

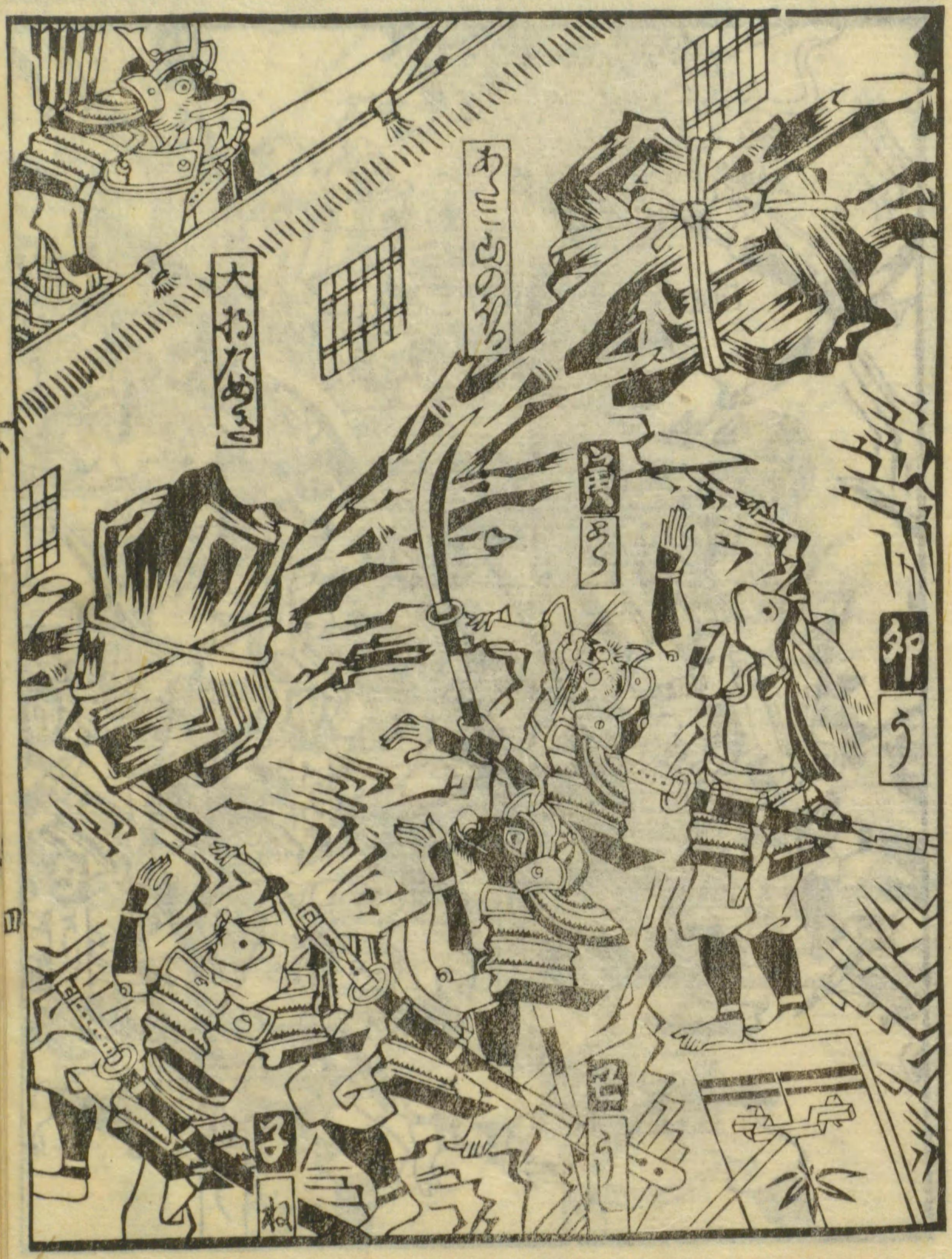

大将たぬき
きつね
ののめ
とんひ
さし
みそさゝい
うそす
みゝつく
たかゐ〜

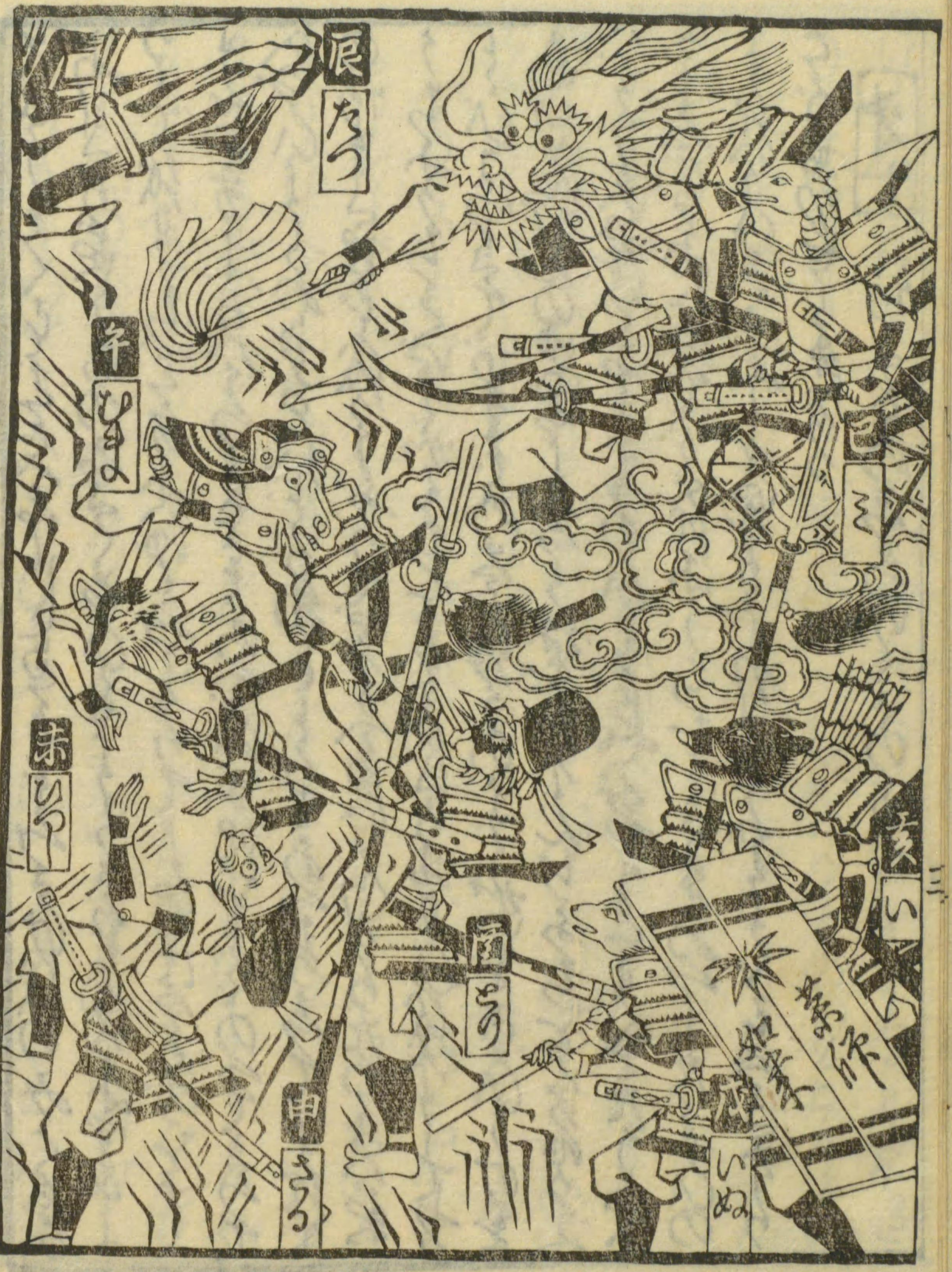
げんだいやのくれなゐとさびおりんをとうとびてさうきはをさしとりてこゑをぞうちおほぎそのかみこそとのまだれよりやとひうがめちていうそのかたもてばりみふせんとおひうわしたるはもあのくびちど出そあひしもお利ふ志かのくものだんさしいかものだつみたはさんやのだんとはとめんとそおふしざるやしめうれふつとびがやしうひぎみなりくれげがるよとそはへかんやぎまへとやりくれげかとしよをくやりそのまむしやなれだぜひなくらおそまつさえりきてぞさらみくろぞのかのゆせうまきあれと千しえおひとをなまひてだらやのましよまされふりまのなんふおつまるまそ末のうつろしりたわえいおさうふこのうらしくれじよろこぶゆうだりもじよせはかくまちだしてやらんでうきれのみのれだかゆくゆそれしよせころ千らひのとめがうはびのりすのいくさふみてびまそでよのくゆのがくらいるぎ

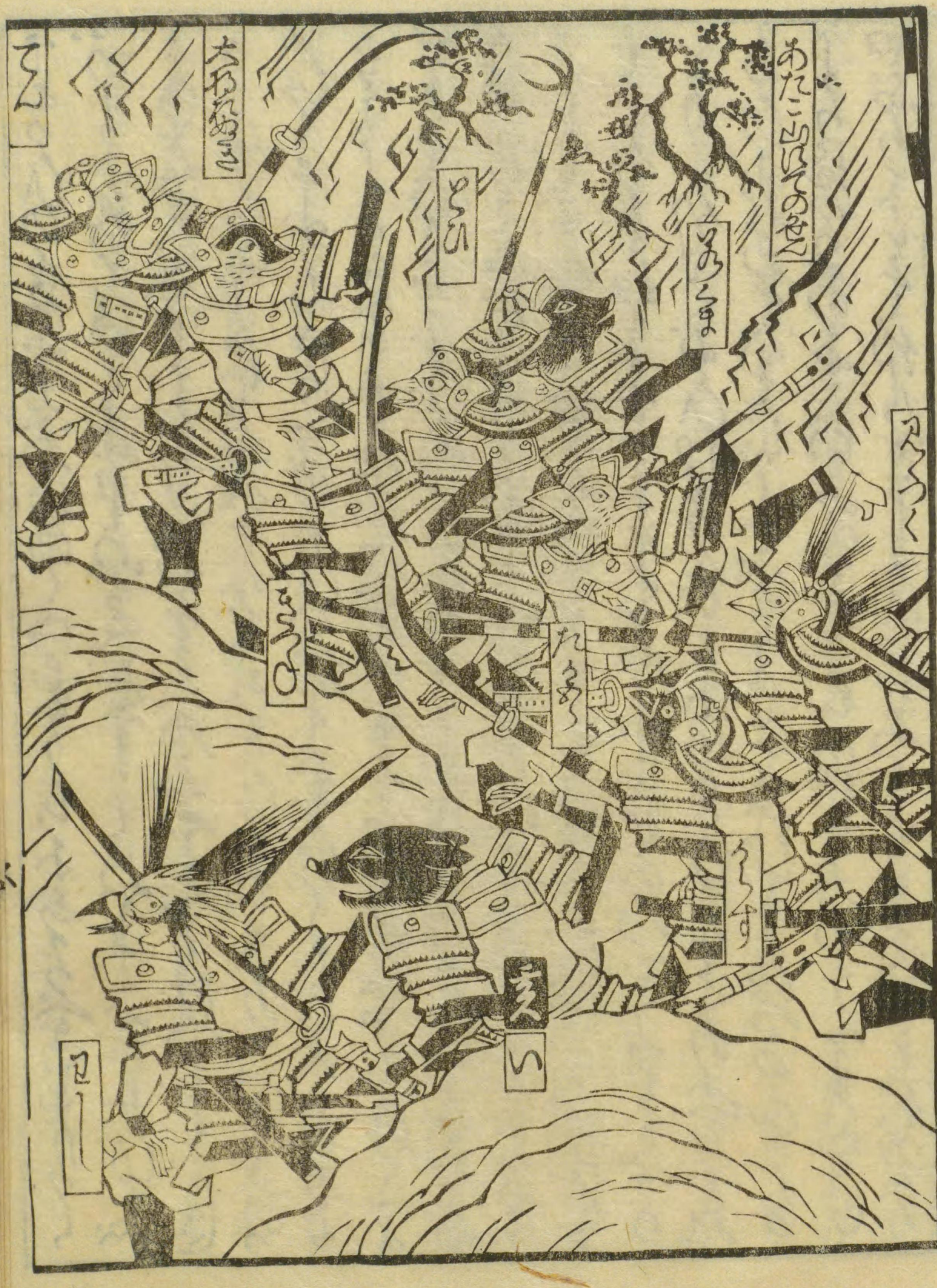
てきうそくむじよでへあやしもそくわまづさけんのみくるひみさうぎ叙うちのあてぞひをしうさるまろうふかてをよつまて御うちごとこ方ふへゆきやとりてしよれはたるものをとすませ一方よりへうつくともろ会さえれとものぞきて会ひしうれなるれだとる物もとるまあへまおそでよれものかのまさくれぜ御うふりでほりへ母はさんくらだあきは東うちふりちくはきがをだそとそえろおかりひ御なりてふろとびよつまそでかまでの大名だうのとうがいとあひうけをまぶらんがんの中合ら御ぞもがんぢふちやとくらゆうえはしうぎはぜくみくもおひそるもだやうくらくをたち山木うまゑざるふねおでかられふうちをとしさまをめで、たつりひのとれいのまくかべーぜ家もりしかりゆまくをそべきなりとうおかせうまきろろ

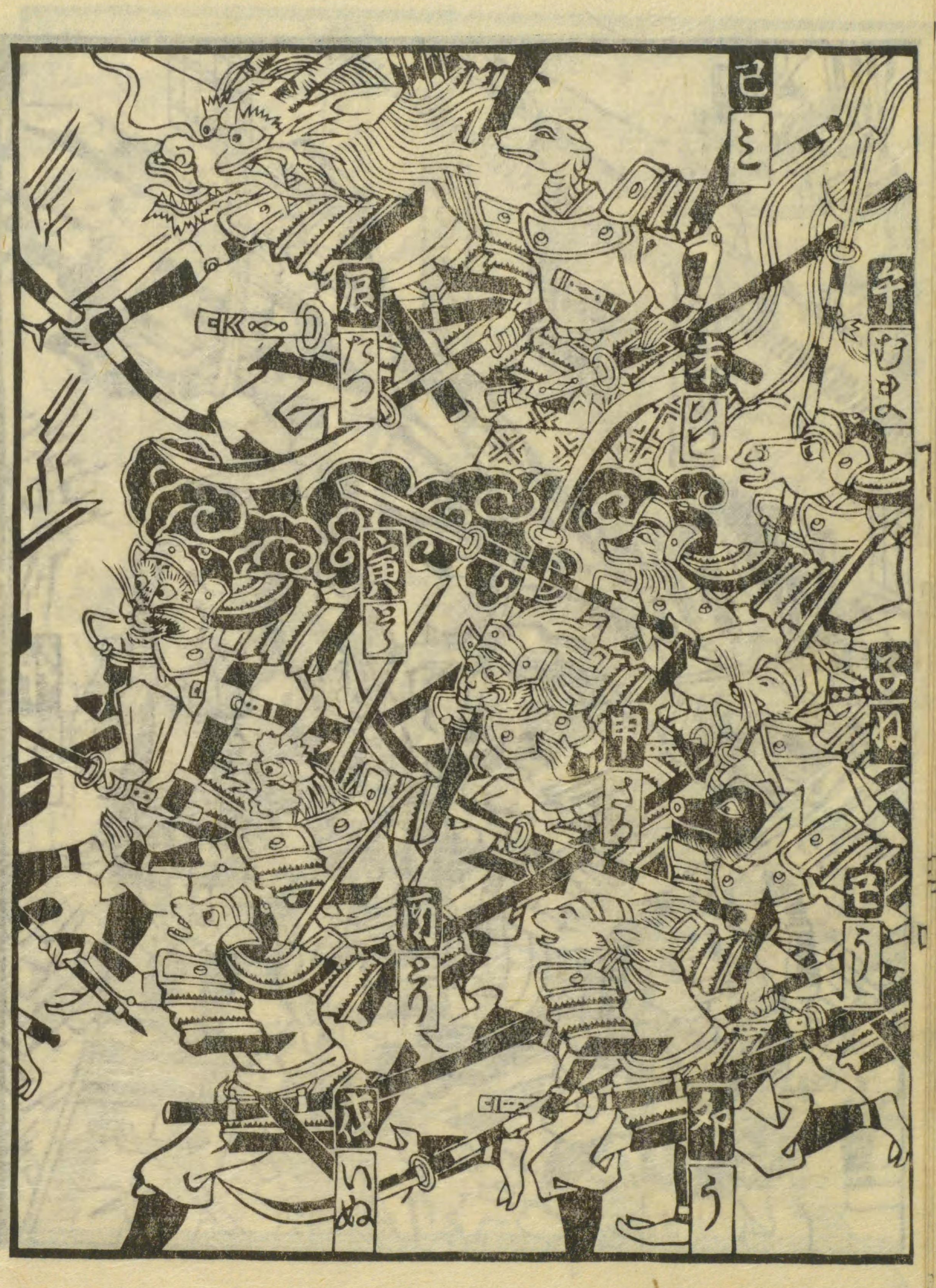
才七

なぎどのあろろいくさのうす


あミ山のうろ
大おたぬき
寅とら
卯う
丑うし
子ね


辰たつ
巳み
午むま
未ひつ
亥い
酉とり
申さる
戌いぬ
華作
如幸


あたご山にてのせゝ
てん
大わたぬき
とひ
からす
みゝづく
きつね
たぬき
うそ
亥 い
むし


巳 み
辰 たつ
未 ひつじ
午 むま
寅 とら
子 ね
申 さる
丑 うし
酉 とり
戌 いぬ
卯 う

十二ひの宮ゆきでのざしきの殿うちにちろべきとりがら
のまへに花ざを活けて曲里わきば鉢すゑわすれ小松のひでが
さゆきくせにをりよりくおまてのおやへよほべさしじ
ろうぜんどあそはせ小せへかすりおろそひらをちるしりべいろびろ
のひくさみちくらりしがうひへおやうもうぞくならだら
だらうじよりきさもとかすれぞたらぶわてまうせいあるもざさそれくよ
せらくもびんかずどだらつざのひつやしくれいぞの中のよ前ら
だゆふさんみおやしくろへゆくへおまでのたらがうよりきこと
ことも目わらがねせはおひそでうきさろやきをしれぢのせじを
だ八太のまうわうのやしまでもあのほじげのせうまうぐわり
とりよりくおひむかうんぜろあのをのたくおへさこれ
あびおなあそへぞれしをばかち絵んでおむま様へゆんだもち
ようゆのおゆでのみまふさちのかりおやうくまくをけ
やぶりてさらそ仰らんさしきれだすつともちうもとそのころ
のとりがら八日をてんぐくだされそのいこよりまかせあのかうだやうれら
たまへこれをとりてごまをつかはしふさいだてそうさてまちうけ
きまりぞのゆへたんでおもとくゆやもらく扮ろべき庭ろもあろ里
なれどさうたんしよりこれおむらまでぞくのひくさみてせこうぶ
なみえさりなりぬくとらめこくおもしびそどしくやうらん
てふまうりわざれがつておやうちうさうだおへりがいれおくさ
させぶうづちなりゆりてがどおくにわのおやうへまくけやぶ
のまなれだたのむおのたらべぶだらあひもぶうでくこらあかきぢ
かごちへのあの下べかのてぞゆふにおきうれなれがもりしてそのや
かへのとりがらへやもどうるふもとうずちまてはそゆへむちつくおち
うをねぢやさかんのゆおきへりしのすでさめくへうちとあ
らまきめでくれがしなれだがつくうちをぞてたゞまきて月の王
のみぞうのぶつぶんのちてへぞでかぎ入なる

才八

たぬきぐろうぼうふとりきたれやすらず

たわきいくさふうちきまでごどのちぢやうくとせんじやうあくこ
そなひのたれいうふもくらのもちばさくがんしとうへいうが
りとのすがたふかくなつばもうさひかくおかげてだかふのうえち
おなりてかきてらをあふらしじん面よりへせんとれ十らるひと
みあへひてんと拙りのてぐろばのふこりのまあてぢのめまく
にれみかなうねぢをかせうちちまそて十らるひち吉東京れ
〈わりむさらうみちふかくいねふせぶわれてもでふあぶすく
みしれたかぢばしてふぎにらぴんやさアなりいわふぶふ
かんしうまきねぢりて面づどうぶとへさらうすさ御がりんずう
わと拙りのやうれくぴくまそもむすのくとくぶまうね

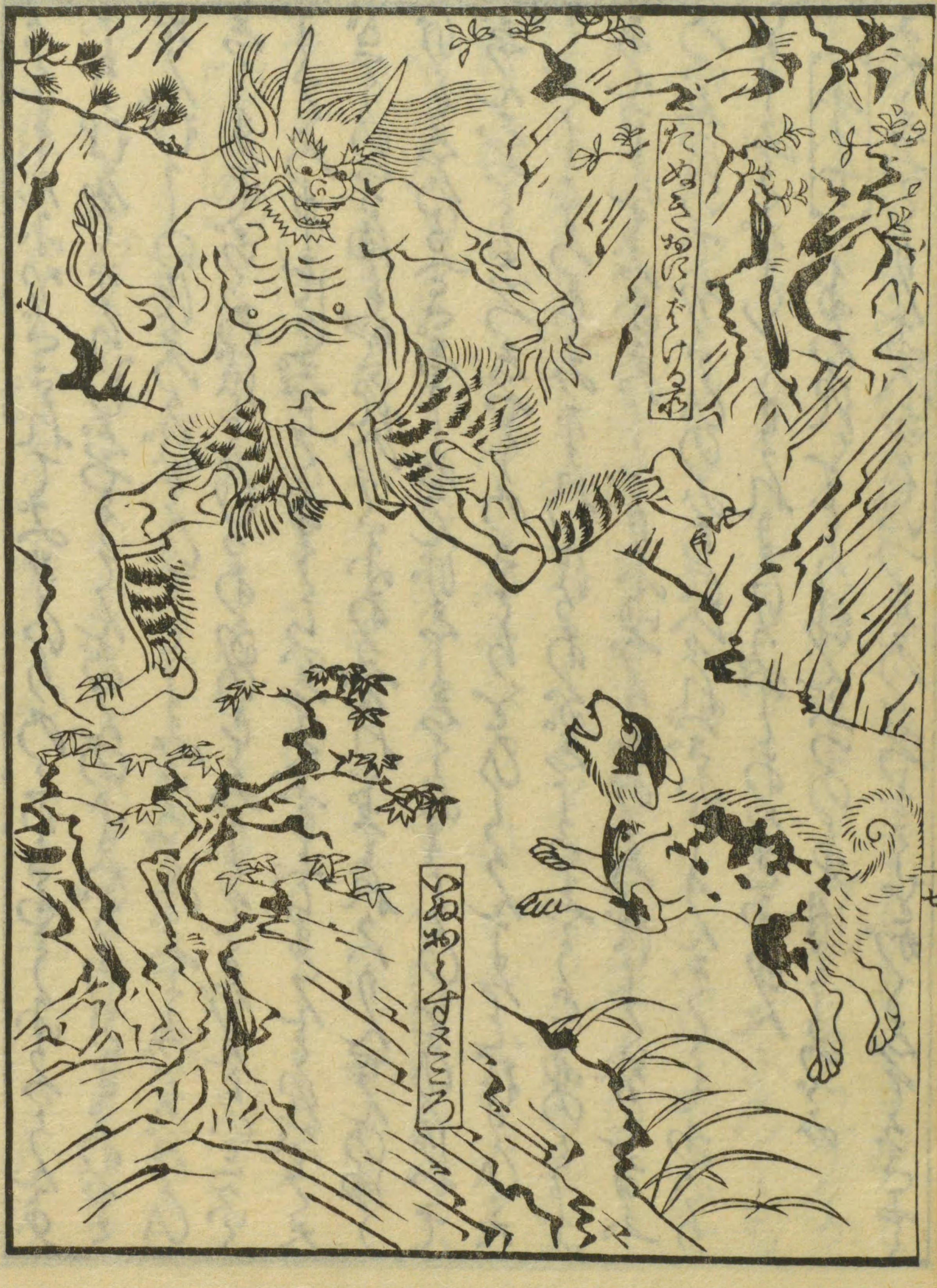
才九

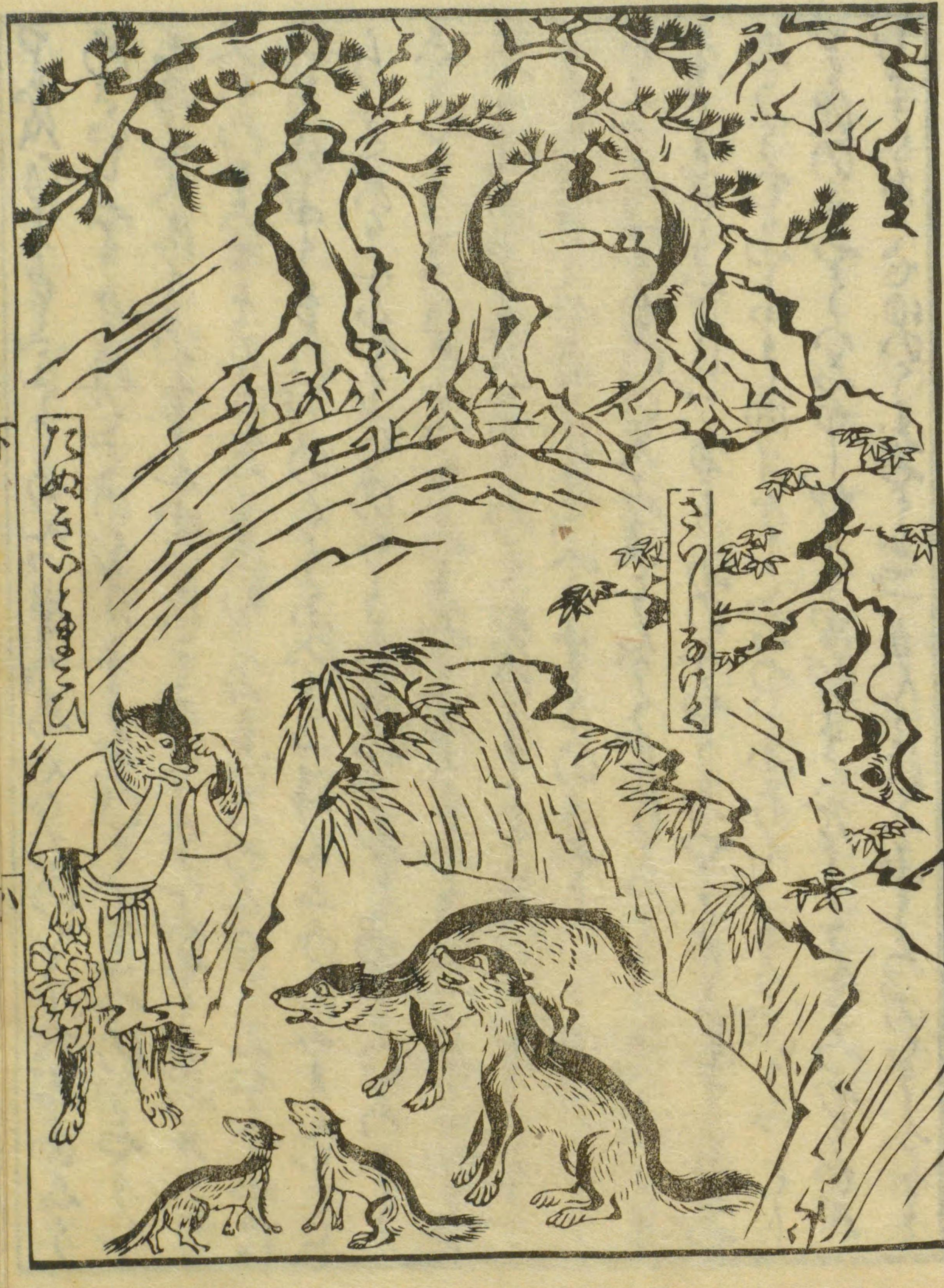
たわきこぶあうぢんわとなす
やうふうくふわりろくをたすれしとのみうさなすれがんあそへ
づうくわがうくぶうくあうめのそこふうくまあくがみがつて
さ面なおんぜうふゆぬんもりにろとの中ふぶようるれがぢや

くいまんふかりざされてみかりりのくらいやうふうてうんす
てうむ屋くなれむむぢやうてんなんのよいふふくもおまと
なんぴしのはうのりだそへひてとしみなうぱさへがやうがうぞぢひ
ぢうまでぢゝろばとぶむろおあのそをみりしそをがんらいとがく
まうくの中ぞにぢゞくあうらいぢさくぶさべらまんとれやくく夫
ぎうのくる角もがえのうてふわるへなれだぢそれくへりんぜんの通り
けりもぢかるへさぢうしあんげぢうまぢうねまうひとをひのりぐやて
ぷんぢやうぢうぢやうのさうりとひろうんすくとなりひれ
てどしごろもみかれはうあふぢうのまやうとめのうし
なんつまんもみあさうしどりふゆづりそぢうくばしくがんなすふ
のいなばつでりずひのみちれへなれざぱうしれんぞくもあをり
としみくなくくまれすけりぱとおやまをおあん

才十

面わたとどう拙んぶつのる　付くらつづみ
さてぢやくりんふへあざいつまのぶつまうとがくぢそてうざいや


たぬきおにとばける所
いぬはしるところ

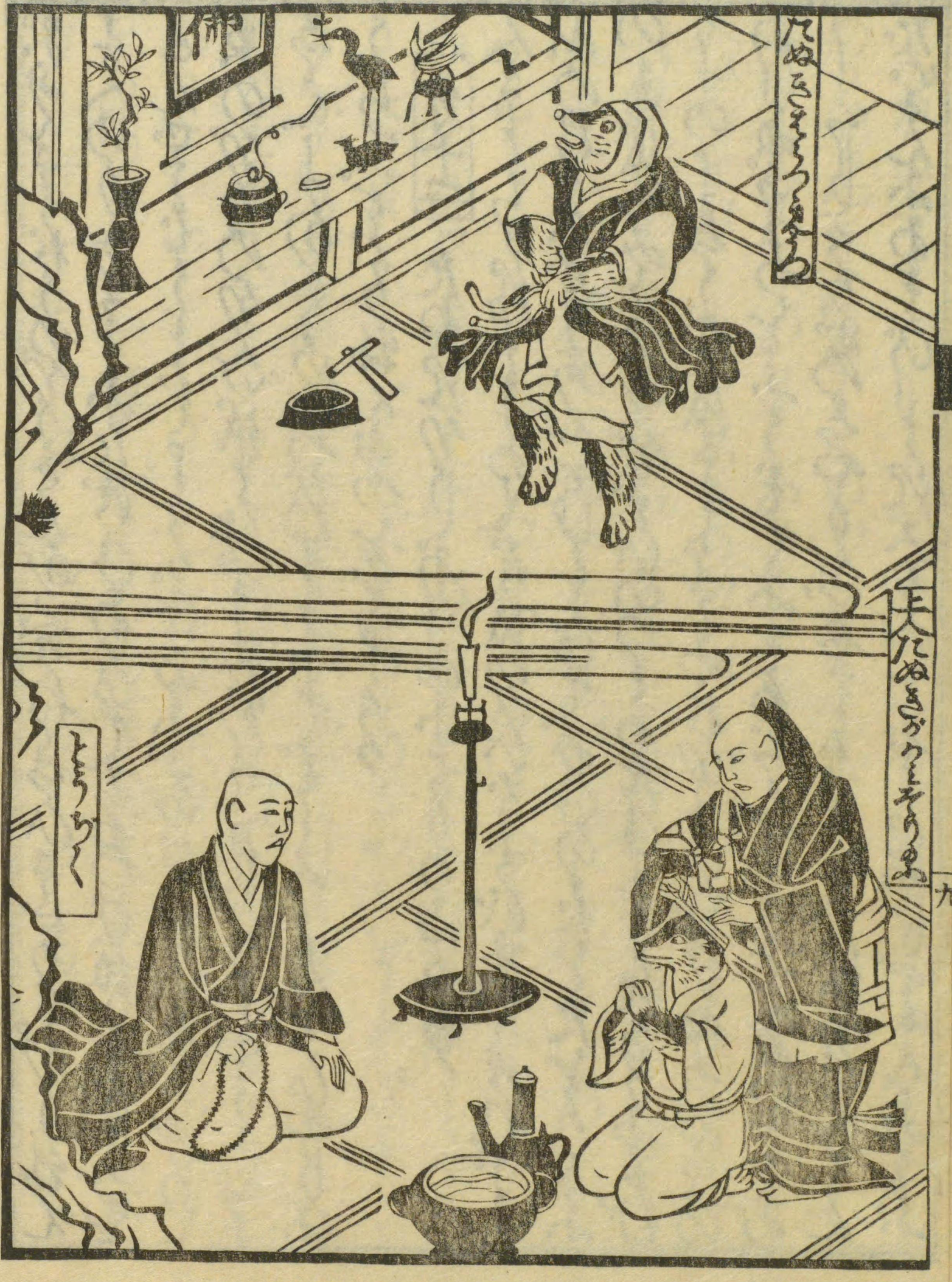

きつねけく
たぬきのしゆゑん

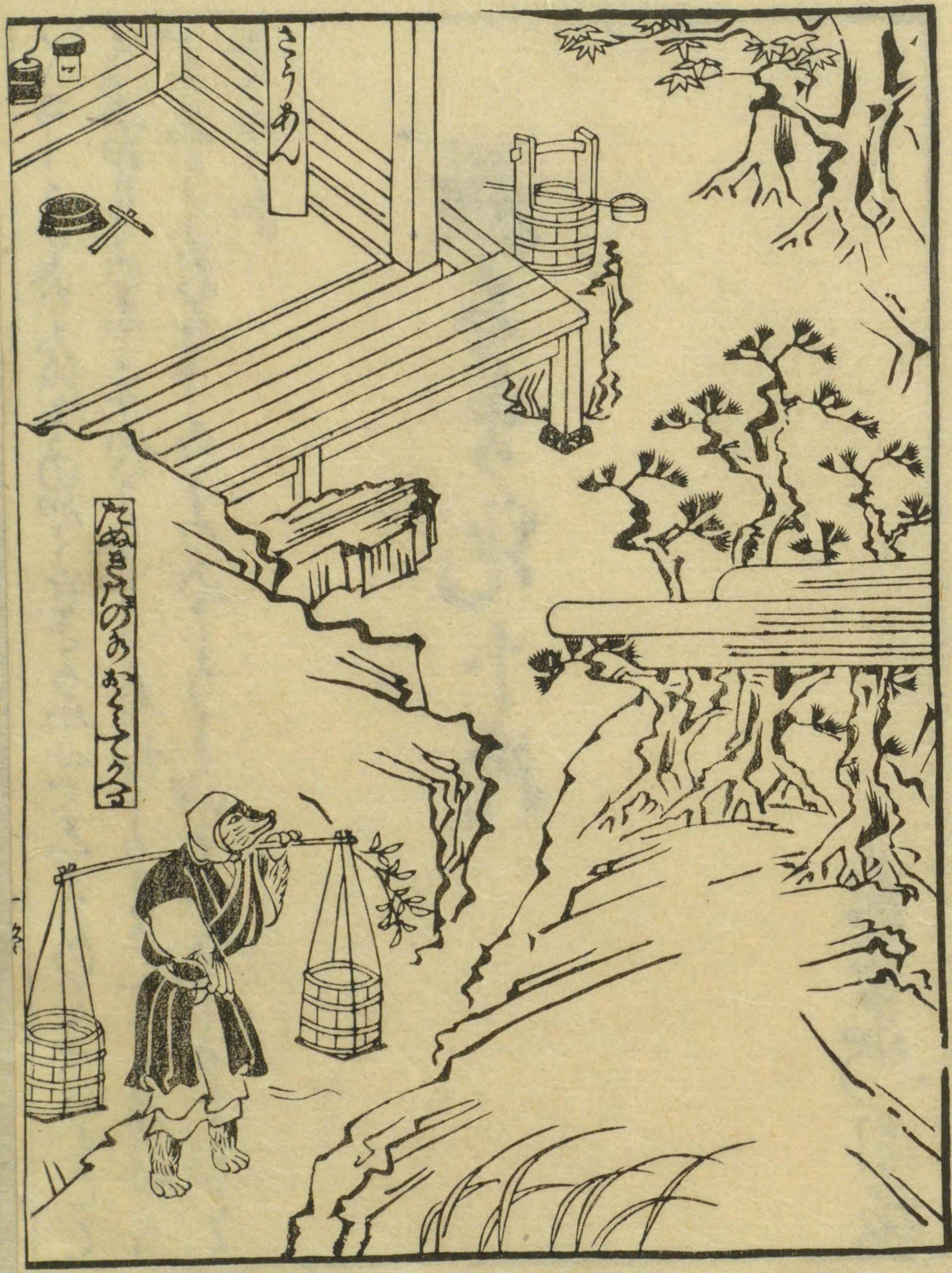
つまはひらきてべさしあんべきやうぶんでんのとし〳〵ぺしよしう
めさいちやうみれどごのかうときあびそごろのぶやうと
しゆじやうのくまんおぢしてぞくしんじやうぶつなり。
みかつきをせそんしちまのかんぐまはしやしやうしやうふれ
のぢたびやうされどごのちうふのくご縁んこゝのてんをとこ
らくぢらんしやぐのくうおふやうあるしゆぴみかつきう
しきをとうじひそしんころきやうゆがきやうきふきのあるをせ
たらしぴぴちうゆはしきのてあはりそおまきびぺおかくうやう
りんの月をやかんがほどにぴとすうのぎやうをとしてござらう
ごんげんゆしめりのえみまでんがうぎどじれうがんのうづくとき
かどしちゆぎやうしごあらあのぎやうまづやとかるまてちしや
のうごべやふさ御かどぴしちゆぢふおんじぐうぶうふもし
まれのぎやうはしゆかづくおかくだらうまつかうぜぴよ
ぢうくわくせゆへうしやうど。りんかたうゆまろのとし〳〵ぞそ

かいぶんされたのがくもんあるべかれどもひさびさにてかく縁ん
上人のりんつまふたばのわひてしかつけはとばそしてうど
まんぜいどもぞやくろけなおふざのけふそてはしてぶらし
家のがくのかんはとげ。ますみなとてごはだらうぢやうふぢう
しくじあくおうはすましてまいづうかんとひやしふ
うちてどうど縁んぶつとぞやくろ

第十二

たぬかにかりしおし山ふこりのあるゆ
人さとちうにすまあまだはかんはなうびおかしくれぞ
山のれくふさうかんとひきとびそみかのれとたまうぺふ
のあはらみくでせがぶひのつとあたまんなにすうゆをむ
うのまさうぴがはきそでくやれかしくん月のゆへゆにの
おしぬおうろとふうぞくふそめぐちふまうと忍びこくお
うくしくうぴあしやのんは家さどぷうにしはのげんとくてん
だいさんふあきびしとにぴえどへとおぞすにやしぺますとがうぶ


たぬきこぞうになる
上人たぬきがかみそりたまふ
とうちく


きうあん
たぬきたごのみをくみてくる

くせしまだ給そのかへせざるべでござるのこたへまとこ
うぷみかりとの志くさがふへくことめ仰しゃりまんてとされとを
ぷよ志くふれるすであろふてうとぱとやさしうきともえん
ゐるうる

獣太平記下終

[illegible]開板

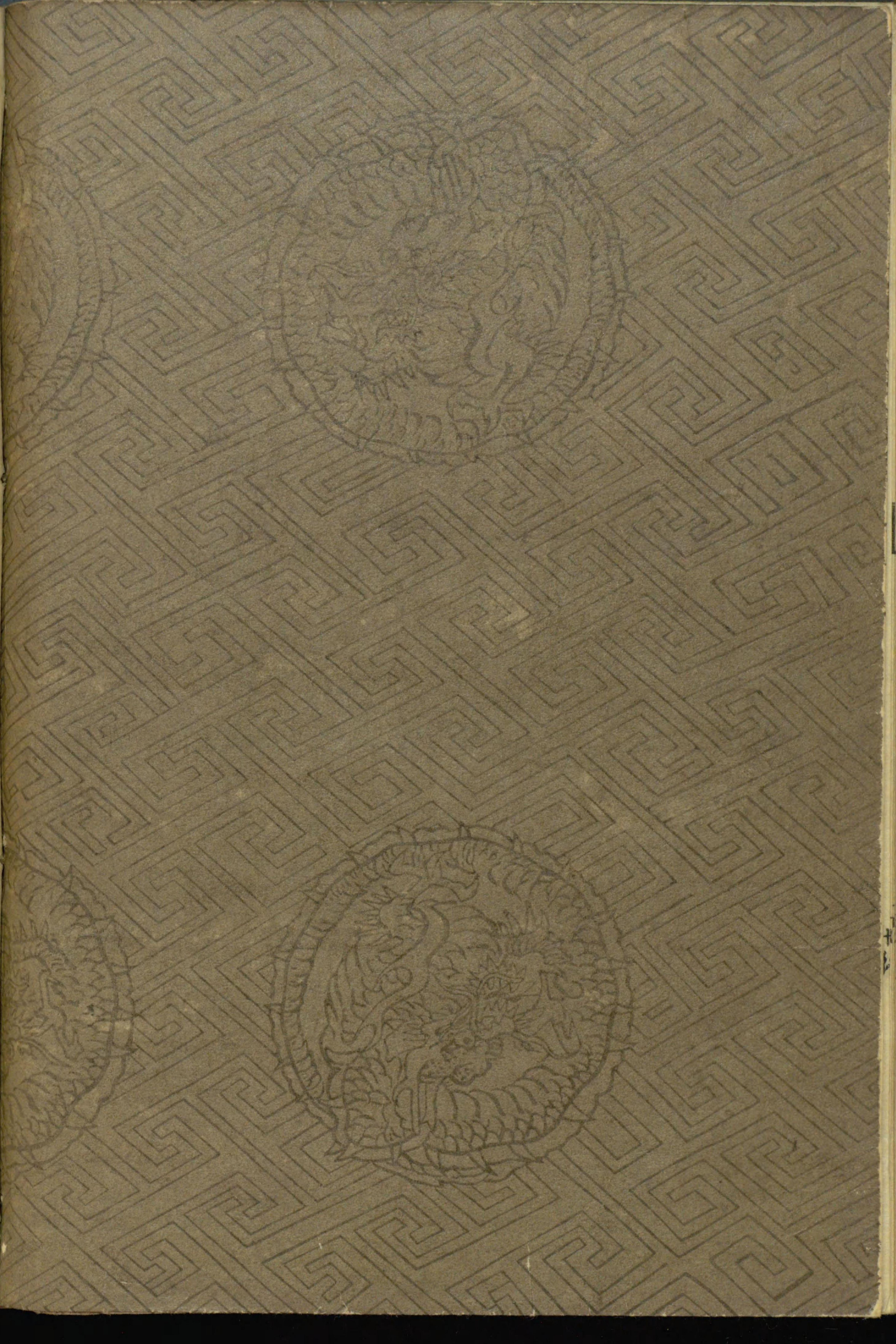
第三期
第八回

大正十二年二月廿五日印刷
大正十二年二月廿八日發行

編輯兼發行者　東京市牛込區富久町八十四番地　山田清作
影刻者　大塚祐次
印刷者　阿部鍋五郎
發行所　東京市牛込區富久町八十四番地　米山堂
電話九段三四六一
振替東京三三五〇九

稀書複製會

162
合 1
67



帝國圖書館藏